

硬式野球部「第59回全日本大学野球選手権大会」ベスト8の快挙！



(写真：北海道新聞社提供)

大会での戦績

- 1 回 戦：○ 3対1 四国学院大学
 2 回 戦：○ 3対1 広島経済大学
 準々決勝：● 3対4x 八戸大学(延長14回)

北海道大学硬式野球部は、平成22年6月に開催された「全日本大学野球選手権大会」に8年ぶりの出場を果たし、見事「全国ベスト8」の栄誉に輝きました。

全国ベスト8は、国立大学では史上2校目の快挙で、本学の学生・教職員のみならず、全国の北大OB、OGの方々からも、歓喜と賞賛の声が寄せられました。また、今大会での粘り強い戦いが“感動を与えた”と評価され、同大会から「特別賞」が授与されました。

この躍進の陰には、前年の秋季リーグ（札幌6大学）において、3年ぶりの最下位（二部との入替戦は、2勝1敗で一部残留）に終わった悔しさをバネとし、オフシーズンは部員が一丸となって、たゆまぬ努力を積み重ねてきたことがあります。

決して練習環境に恵まれているとは言い難い本学野球部ですが、グラウンドが使用できない時期には、体育館での室内練習のほか市内にある屋内練習場を借りて、土の感触を忘れないように心がけてきたとのこと。また、特に今年は雪解けが遅く、その間、目的積立金を投入して平成21年度末に完成した通年型競技施設で十分な練習ができたことも、活躍の大きな一助となりました。

札幌キャンパスを駆け抜ける -2009北海道マラソン-

多くのオリンピックランナーを輩出し、北海道の夏を代表するスポーツイベントとなった北海道マラソンは、2009年にコースが一新され、初めて本学構内を通過することとなりました。

平成21年8月30日、23回目を迎えた2009北海道マラソンが札幌市内で開催され、男女約7,300人の市民ランナー等が本学札幌キャンパスを駆け抜けました。

レース終盤の38km過ぎ、本学北キャンパスに入ったランナーたちは、モデルバーンの横を抜け、メインストリートの緑のトンネルを縦断。途中で40km地点を通過し、クラーク像のあるロータリーを左へ折れ、鮮やかな緑の中央ローンを横目に札幌農学校時代の正門を移設した南門を出て、正面に見える北海道庁日本庁舎（赤れんが庁舎）を目指してゴールの大通公園までラストスパートをかけていきました。

当日は、北海道マラソン応援プロジェクトによる応援や給水ボランティアなど、多くの学内関係者が大会をサポートしました。温かい声援と美しい約2kmの道程は、疲れがピークに達しているランナーを大いに励ましたことでしょう。



上野の森で「大学サイエンスフェスタ」を開催

「北海道大学が拓く最先端科学～北海道から世界へ、世界から北海道へ～」

平成21年12月に、上野（東京）の国立科学博物館において、参加大学と国立科学博物館の主催による「大学サイエンスフェスタ」を開催しました。

この催しは、大学などの研究機関が実施する最先端の研究をわかりやすく紹介する「発見！体験！先端研究@上野の山シリーズ」（主催：国立科学博物館）の規模を拡大し、10月末から12月下旬にかけて3つの期間（10大学）で連続開催されたものです。

本学では、5つのゾーンを設け、それぞれのテーマを「北海道大学の今」、「地球環境の未来をつくる」、「人間の社会を作り出す心のメカニズムの解明」、「触媒からはじまるイノベーション」、「人獣共通感染症の克服を目指して」として、パネル展示、体験実験、ゲーム、クイズなどを活用して来館者に本学の最先端の研究を紹介しました。

会場には多くの小中学生、親子連れなどが訪れスタッフによる展示物の説明に熱心に聴き入っていました。また、同窓生も多く訪れ、今の北大の研究・教育について認識を新たにしていました。



北方墓参への協力

平成20年度に引き続き練習船「おしよる丸」による北方領土墓参航海を実施しました。

墓参航海は、本学に課せられた社会的使命である地域・社会貢献を果たし、かつ、教育研究成果等の公表に資するものとの判断から内閣府の協力要請を受けて実施しているものです。

平成21年度は年4回行われている墓参航海のうち、第3班と第4班の2航海をおしよる丸が実施しました。第3班は8月18日から21日、第4班は8月24日から26日の日程で、それぞれ元島民ら26名と同行者12名、本学事務スタッフ4名計42名が乗船し、色丹島アナマ墓地、志発島カフェノツ墓地、多楽島ヒラリウス墓地の3か所に上陸し、北海道主催による慰霊祭が行われました。



おしよる丸



おしよる丸の活動紹介



色丹島慰霊祭

また、航行中の船内では、墓参団員に対して「おしよる丸」船長と航海士による同船の北洋航海における教育研究紹介が行われ、本学の教育研究活動及び水産海洋への理解や関心を高める大変良い機会となりました。

